

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 新美 敢
 幹事 堀江 宏輝
 会報委員長 魚津 常義

No. 7

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988～89年度 R I 会長 ロイス・アビー

第299回例会 昭和63年8月16日(火) 曇 ファイアサイドミーティング 於 松楓閣

◇ “我等の生業”

◇出席報告

会員 57名 出席31名

出席率 54.39%

前回 8月9日 (修正出席率) 100%

◇ビジター紹介 94名

◇お誕生日祝福

黒野君(8/20)、浅井夫人(8/21)

◇ニコボックス

新美 敢君 本日のご出席ありがとうございます。

永井 正義君 名古屋市内ロータリークラブ麻雀会を8月9日当クラブのホストとして無事すみました。新美会長さんご援助ありがとうございました。

親睦活動委員会の渡辺委員長さん、杉浦さん、鈴木(理)さん、麻雀会の皆さん、ご協力感謝致します。ありがとうございます。(麻雀会幹事)

松居 敬二君 おくれて申し訳ありません。

黒野 貞夫君 誕生日祝い。

浅井 誠寿君 夫人誕生日祝い。

◇新美会長挨拶

お休みの所を多数ご出席くださいます。有難うございます。

昨日は終戦記念日で各地では平和の祈りが捧げられた訳ですが、今年も靖国神社問題で竹下総理は中国に遠慮して参拝を見合わせる、各大臣は公式、非公式とどうもよく分かりません。霊を祭ることは何処の国でも同じで、私達が墓参りに行くのと一諸であり、此に政治を絡めてとや角論すべきものでもないでしょう。終戦後43年の今になっても生きた人間どもが我々に纏い着いて来るこれでは全くアベコベで我々のお株を取られた様なものと嘆いている事でしょう。我々も別に好きで戦争に参加し 職したのもでもなく、これ程付きまともわかれては「うめしいや」下界では時効というものがあるのに我々は未だに戦争犯罪

人扱いだ。親や妻子を気遣いながらこの後も宙をさま迷い歩くなんで浮かばれない。何時まで我慢すればよいのやら。

我慢と言えは仏教から来た言葉で梵語の「アート・マーナ」の訳で我に執着して、おごり高ぶり、他を軽べつする慢心の事を言ったそうですが今は負けん気が強調されて「耐え忍ぶこと」「辛抱強い」の意味が変わっていったと書いてあります。

◇◇◇◇ ファイアサイドミーティング ◇◇◇◇

◇乾杯 佐野副会長



本年度第1回目のF.S.M.は、3名の新入会員を加え、一時夏の暑さを忘れ、和やかに開催されました。



◇ガバナース・レターより

フィラデルフィア国際大会に参加して

ガバナー 高沢 隆

フィラデルフィアは、“アメリカ合衆国誕生の地”、市の中心に建つ白亜の大建築、シテイホール塔の先端には、300年前に街を建設したイギリス人ウィリアム・ベン像が立ち、古都フィラデルフィアの成長を見守っております。

国際大会は5月21日より25日まで、シビックセンター内のコンベンションホールで開催され、総参加人員は16,316名、うち日本人は797名とのことであります。

276地区からの参加者数は不明であります。田中ガバナーをはじめ地区内の多くの会員とお会い出来、さらに小生の激励のため特別に参加していただいた豊橋クラブを中心とした24名との昼食会。ペンシルベニア大学に留学中の財団奨学生浅井英彰君ご夫妻とお会いしたことなど、思い出はつきません。

野口英世博士の胸像除幕式

5月23日、会場前に於いて、京都城陽RCの寄贈した野口英世博士の胸像の除幕式が行われました。この胸像は同クラブの金井征之会員の製作したものであります。この除幕式には、向笠RI元会長、千RI理事はじめ多くの日本人が参列し大へん感銘ふかいものであります。野口博士は、1900年12月アメリカに渡り、最初に就職した大学が、フィラデルフィアのペンシルベニア大学の無給助手であったとのことです。この大学で恩師フレクスナー博士の指導のもとに世界的な科学者に育ていったのであります。この胸像は同市の野口英世博士記念研究センターの玄関に飾られます。

ポリオプラス寄付目標達成

5月24日の本会議の席上、ポリオプラス寄付の申込額の発表が行われ発表された金額は当初誰もが予想しなかった2億1千9百ドルと云う巨額でありました。これは目標1億2千万ドルに対して83%の増であります。日本はアメリカについて2番目で2千7百万ドル。ロータリーの偉大な世界奉仕計画が大きく前進したことに心から敬意を表したいと思っております。

276地区のポリオプラス寄付も、おかげをもちまして順調に増加致しております。達成期限は91年度となっておりますが、出来れば本年中に完納出来る様、各クラブのご理解を願う次第です。

来年の国際大会はソウル

次の国際大会は明年5月21日より5日間韓国ソウルで行われます。今大会には韓国より多数のロータリアンと家族が参加され、本会議で、又朝食会で熱心に参加を呼びかけました。特に日本には多くの期待をよせております。

わずか1時間30分の距離であり、友好クラブを多くもっている276地区としては、ご家族ともども多くの会員の参加を願ってやみません。ごあいさつ

名古屋第二分区

分区代理 峰谷 弘道

千里を行く旅人は歩速は自ら定まる。急ぐことなく、怠ることなく、遅々たる努力の末、初めて千里の彼方に至る。

ロータリーの光栄ある80年余の歴史と、さらに未来永の発展と栄光は、ロータリアン各位の品位ある叡智と千里を行く旅人の如く絶ゆまぬ努力が必要かと思えます。

従って今一度ロータリーの原点であるポール・ハリスの唱えた職業奉仕の理念に徹し、ロータリアン相互の友情を深くし、魅力ある充実したロータリーのクラブライフがあって初めて外に向って活力ある奉仕が出来るものです。

RI会長ロイス・アビー氏の言われる「ロータリーに活力を—あなたの活力を」のターゲットを、国際奉仕に、社会奉仕に、青少年奉仕に実行するためには、区内各々のロータリークラブの充実が最も望まれるのです。区内近隣クラブはお互いにそのクラブの素晴らしい業績特色を知り敬意を尽くしてお付き合いし、建前は別としても、本音で付き合えるようにはおはかりするのが、分区代理の仕事の一つかと思えます。

ロータリアンの最も留意すべきことは、職業奉仕に誠意を尽くし、ふさわしい社会的業績と利潤を挙げ、その余力をもって優しい思いやりのある奉仕活動を実践することにあると思えます。従って本年度の名古屋第二分区のIGF目標もそのあたりに焦点を定めたいと考えております。ロータリーの会員に充分なる奉仕をして頂くためには、クラブの会長は日頃例会で楽しい心暖まる雰囲気を保たねばなりません。言うなれば会長は、クラブの方向を定めると同時に、会員に対して充分なるホストを勤めることが必要かと思えます。その苦勞される会長さんに対してホストするのが分区代理であると思えます。

本年度RI 276地区高沢ガバナーの御指示を受けて会長さんのために下働きをするのが私の役目であり、身に余る大役でございます。宜敷くロータリアン皆様の御支援をお願い致します。

◇次回例会（8月23日）

講演 “日本人について”

ロック歌舞伎スーパー—座座長

原 智彦 氏（紹介 宮尾君）

◇次々回例会（8月30日）

講演 “フェアとは、アンフェアとは”

榊ナゴヤ球場社長

仲谷 義明 氏（紹介 武内君）